

TOKAI

東 海 防 衛 だ よ り

2019
令和元年

冬



焼岳における山地機動訓練
(第35普通科連隊)

東海防衛支局の取組等／東海3県の自衛隊の動き

- ◆ 江南市立門弟山小学校（機能復旧工事）
- ◆ 東海防衛支局の政策広報活動
- ◆ 令和元年度 東海防衛セミナー開催
- ◆ 岩屋防衛大臣（当時）東海防衛支局管内を視察
- ◆ 焼岳において第35普通科連隊が山地機動訓練を実施
- ◆ 名古屋まつりを支援
- ◆ 愛三岐の街から ～三重県 津市～

東海3県の防衛産業・技術基盤

- ◆ APCエアロスペシャルティ株式会社

江南市立門弟山小学校 金属製気密建具取替工事（機能復旧工事）

岐阜飛行場
周辺



改修前の施設外観



改修後の施設外観



改修前の破損していた引き寄せハンドル



改修後の引き寄せハンドル

防衛省では、地方公共団体などが、航空機騒音を防止又は軽減するために行う防音工事に対し、補助金を交付しています。

具体的には、防音工事後15年以上経過した施設の金属製気密建具（防音サッシ）が経年劣化などにより防音機能が低下した場合に、その機能を復旧するために行う防音サッシの取替工事に対し補助金を交付しています。

江南市立門弟山小学校は、昭和52年度及び昭和58年度に防音工事を実施した学校で、工事後30年以上が経過し、防音サッシの劣化に伴い、防音機能が低下したことから、普通教室や特別教室の防音機能を確認するため、平成26年度から平成27年度にかけて、江南市が金属製気密建具（防音サッシ）の取替工事を実施し、これに約2200万円の補助を行いました。

防衛施設周辺対策事業とは、自衛隊等の行為または防衛施設の設定若しくは運用により生ずる障害を防止または軽減するための事業です。



改修前の普通教室



改修後の普通教室

学校からの声

防音サッシを取り替えたことにより、航空機騒音が従前より軽減され、教室での授業が快適に受けられるようになりました。
また、苦慮していたサッシの開閉もスムーズになりました。

東海防衛支局の政策広報活動

陸上自衛隊第10師団創立57周年記念行事にて

防衛省・自衛隊の活動は、国民一人一人の理解と協力が不可欠であることから、分かりやすい広報活動を積極的に行うことにより、国民の理解と協力を得ていくことを目的に、東海防衛支局では自衛隊の創立記念行事などで防衛省・自衛隊の活動や政策などを紹介する広報活動を行っています。

令和元年10月27日、守山駐屯地において、陸上自衛隊第10師団創立57周年記念行事が開催されました。



記念行事での車両行進



特設ブースの様子

当日は天候にも恵まれた皆さんの来場者があり、東海防衛支局は、駐屯地内に特設のブースを設け、当支局の広報誌や防衛省のパンフレットの配布を行いました。また、特設ブースに立ち寄っていただいた方には陸上装備品のオリジナル缶バッジを配布しました。さらに、10月30日に開催した当支局の防衛セミナーの案内を行い、興味を示された方には場所や時間を説明しました。

令和元年度東海防衛セミナー開催

新たな防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画

令和元年10月30日、東海防衛支局は、今池ガスホール(名古屋市)において、昨年12月に策定された「新たな防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画」をテーマに防衛セミナーを開催し、多くの方々に御来場いただきました。

森支局長の挨拶に続き、第一部では、防衛省整備計画局の坂本防衛計画課長が、「新たな防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画」と題して、策定の背景や基本方針、具体的な自衛隊の体制などについて講演を行いました。



防衛計画課長
坂本 大祐氏



NHK名古屋拠点放送
局長 島田 敏男氏



会場の様子

第二部では、NHK名古屋拠点放送局の島田局長が、「日本の防衛と国民の視線」と題して、豊富な知見を交えながら、国の基本となる安全保障への向き合い方などについて講演を行いました。

参加者からは、「分かりやすい説明でよく理解できた」「大変興味深い内容で有意義だった」などの感想が多く寄せられました。

岩屋防衛大臣（当時） 管内を視察 東海防衛支局



栄誉礼を受ける岩屋大臣

7月30日、岩屋防衛大臣（当時）が、三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工場を視察され、その後、陸上自衛隊第10師団（守山駐屯地）に到着し、栄誉礼を受けられました。

引き続き、岩屋大臣は、第10師団の隊員の前に、「昨年12月から東海地区を中心に続く豚コレラに係る災害派遣業務について、心から感謝、お礼を言いたい」と述べられ、また、守山駐屯地体育館において、「感染症対策のためとはいえ、生き物を殺処分しなければならぬことは、精神的、肉体的に非常に過酷な任務であったと思う。任務の厳しさに耐え、懸命にその任務に取り組んでくれていることに心から敬意を表します」と慰労されました。



隊員に訓示する岩屋大臣

翌31日は、川崎重工業株式会社岐阜工場を視察された後、航空自衛隊岐阜基地に移動され、栄誉礼を受け、同基地に配備されている迎撃用の地对空誘導弾パトリオット（PAC3）の発射機やレーダー装置などについて隊員から説明を受け、施設の巡視を行いました。

引き続き、岩屋大臣は、岐阜基地隊員の前に、「航空機の試験などを行う飛行開発実験団の無事故飛行試験」を賞賛され、また、「北朝鮮の短距離弾道ミサイル発射など、安全保障環境はますます厳しく不確実な状況であり、隊員の責任の重さを自覚して任務に邁進してもらいたい」と訓示されました。



岩屋大臣から表彰状の授与



隊員から説明を受ける岩屋大臣

焼岳において第35普通科連隊が山地機動訓練を実施

第35普通科連隊（守山駐屯地）は、10月10日、連隊長以下第1中隊基幹の隊員約30名をもって、長野県と岐阜県の県境に位置する北アルプスの焼岳において山地機動訓練を実施しました。

焼岳は飛騨山脈の主稜線上にあり、長野県と岐阜県にまたがる標高2455mの活火山で、別名を硫黄岳といいます。

第35普通科連隊は第13普通科連隊（松本駐屯地）とともに、「焼



満載の背嚢を背負い山頂を目指す



雄大な北アルプスが眼前に広がる

岳火山防災協議会」の構成機関になっていきます。

本訓練は焼岳噴火を想定し、新中ノ湯登山ルート・上高地登山ルートが通行不能時の交通路となる中尾登山ルート及び新穂高ロープウェイへとつながる仙石尾根の地誌を調査・整備し、災害時の対処要領の向上を目的に実施しました。隊員は2組に分かれ、午前6時と午前7時にそれぞれ登山を開始し、午前10時頃に山頂に到着した

隊員は、登山経路上の分岐点や危険箇所などについて意見交換を行い、認識の統一を行いました。同連隊は、今後とも、焼岳噴火を想定した防災訓練に継続的に参加し、自治体などとの連携強化に努めるとともに、今回実施した山地機動訓練や、その他平素からの訓練により、部隊の実力・即応性を高め続けます。



山頂にてはためく連隊旗
(前列左から4番目 連隊長 曾根 1佐)

名古屋まつりを支援

第35普通科連隊は、10月20日、第65回名古屋まつりにおいて、約200名の隊員をもって、「郷土英傑行列」を支援し、まつりに華を咲かせました。

名古屋まつり最大の呼び物である郷土英傑行列は昭和30年に始まり、これに同連隊は昭和41年より長年支援を行ってきており、今年で53回目の支援となりました。各武将に扮した隊員らは、まつりの最大の見せ場である合戦の再現シーンで、華やかな行列から一転、鬼気迫る迫真の殺陣を披露し、隊員らは日頃の厳しい訓練で培った体力と気力を存分に発揮しました。



刀一閃、敵武将を一刀両断

「愛三岐の街から」



三重県

津市



前葉 泰幸 津市長

【笑顔があふれ
幸せに暮らせる県都 津市】

三重県の中央部に位置する津市は、伊勢湾から奈良県境までの約711kmの広大な市域を有し、気候は温暖で豊かな自然にあふれています。中部・近畿両圏の結節点として交通アクセスにも恵まれ、さらに津市と中部国際空港を約45分で結ぶ高速船のターミナル「津なぎさまち」もあり、海外へのアクセスも良好です。

津市北部に位置し、高田本山専修寺を中心に発展した一身田町には、寺内町の歴史的なまち並みが今も多く残ります。その中心にあ



高田本山専修寺 如来堂・御影堂

る専修寺の御影堂と如来堂は、いずれも高さが25mを超える国内屈指の規模を誇る木造建造物で、平成29年11月28日、三重県内で初めての国宝建造物に指定されました。御影堂は、日本の寺院建築の発展を示す壮大かつ壮麗な大型仏堂として、如来堂は、門信徒の寄進で建てられた日本最大級の近世禅宗様仏堂として、いずれも高く評価されています。

また、津市の新たなランドマークとして、平成29年10月1日、津



津市産業・スポーツセンター

市産業・スポーツセンターが誕生しました。この施設は、津市出身の元女子レスリング選手・吉田沙保里さんが命名した屋内総合スポーツ施設「サオリーナ」と三重県の武道拠点「三重武道館」、さらに産業展示施設「メッセウイング・みえ」を併せた複合施設で、オープンから1年間で51万人の皆さんにご来場いただきました。

平成の時代に津市は、全国的にもまれにみる10市町村での大合併という偉業を成し遂げ、時代の流れに柔軟に対応できる持続可能なまちづくりを進めてきました。これからも津市は志高く、誰もが将来に夢や希望を持てるまちづくりに向けて市民の皆様とともに歩ん

でまいります。

【自衛隊との関わり】

陸上自衛隊久居駐屯地は、近鉄久居駅から徒歩5分の場所にあり、訓練場で行われる春のさくら祭り、夏の久居花火大会など地域に親しまれる場所となっています。

また、津市が行う久居駅東口の整備計画事業などにもご協力いただいています。

毎年行う津市総合防災訓練では、陸上自衛隊第33普通科連隊、航空自衛隊笠取山分屯基地・白山分屯基地からご参加いただき、災害時における救出救助の実践的な合同訓練を行っています。



津市総合防災訓練

APCエアロスペースシャルティ株式会社

技術者集団企業として航空宇宙産業の発展を支える

APCエアロスペースシャルティ株式会社（以下「APC」）は、航空機に関する業務を専門とする航空規格梱包株式会社として1957年12月に設立、翌年1月からT33Aジェット練習機用部品の梱包作業を出発点とし、航空機に関する業務を拡げてきました。現在、各務原市内に岐阜工場、山崎工場、各務原工場などを有するほか、全国に20箇所の事業所を有しています。



APCエアロスペースシャルティ株式会社
山崎工場外観

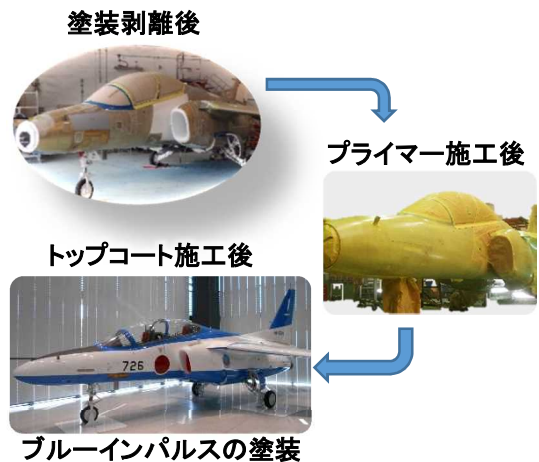
梱包作業以外にもAPCでは、航空機用エンジン部品の加工、衛星用や電子機器用などの精密機器コンテナの製造、エンジン用部品の製造に使用される電解加工機の製造のほか、航空機製造支援事業も行っており、そのなかに防衛省用航空機の機体や部品の剥離／塗装業務があります。

●航空機の塗装について

航空機の塗装は、下塗り（プライマー）と上塗り（トップコート）の2種類の塗装がなされています。プライマーは機体主にアルミ合金製を腐食から守り、トップコートは外観の美しさ等を表現します。どのようなトップコートにするのかは、航空機の使用目的により異なり、ブルーインパルスのように華やかで目立つ塗装とする機体と、その逆に目立ちにくくするための迷彩塗装が施される機体があります。

また、一度塗装した機体であっても、使用し続けることによって塗膜が劣化し、腐食が発生することもあります。そのため、航空機の塗装は数年に一度、すべての塗装を剥離して検査や必要な修理を行った後に再び

度塗装を行うことで、機体を腐食から守っています。



●APCの塗装技術

航空機への塗装作業においては、複雑な形状の機体に対して、一定の時間内に均一の厚さになるよう、作業を手際よく進めなければなりません。特に大型機の場合には、塗装面積が広い上に、10名を超える作業者の連携を保った作業が求められることから、高い塗装技術が要求されています。このため、APCでは、国家検定である金属塗装技能士1級の有資格者を多数有してこれに対応しています。

また、APCは、その高い技術力を認められ、岐阜県職業能力開発協会から国家検定である金属塗装の技能検定実技試験業務に協力しています。

●塗装以外の塗装？

航空機には、華やかさや迷彩のための塗装だけでなく、もう一つの塗装があります。それは、安全のための注意や作業場所等を示す、ステンシルというもので、文字や記号で塗装されています。その数は多いもので1機あたり1000箇所を超えるものとなりますが、その塗装については、鮮明かつ耐久性を有するだけでなく、表示位置についても数ミリ単位での正確性が求められる場合があります。APCでは、独自にカッティングシートによる方法を進化させて、これらの厳しい要求を満たしています。



ステンシルによる表示

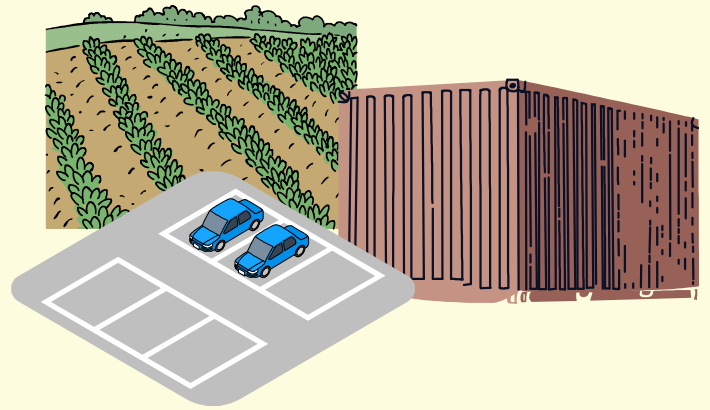
これからもAPCは、航空宇宙産業に多岐にわたり参画することで、その発展を支え続けるとともに、防衛省で使用する航空機の製造・修理に貢献することが期待されます。

周辺財産（移転補償跡地）の個人・民間に対する有償使用許可のご案内

各務原市に所在する航空自衛隊岐阜基地（岐阜飛行場）の周りには防衛省所有の土地が点在しています。今年度から、土地の有効活用のため、個人や企業の方々に対して有償による貸付（使用許可）ができることになりました。

駐車場や物置、畑などに利用でき、簡易な建物も設置することができます。

対象となる土地や利用の流れなど、詳細は東海防衛支局のホームページをご覧ください。下記までお気軽にお問合せ下さい。



東海防衛支局ホームページ 「基地周辺住民の皆様へ」

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/oshirase/O1siyoukyokagoannnai.pdf>

お問合せ先／施設補償管理課 052-952-8224



自衛隊地方協力本部からのお知らせ

地方協力本部（地本）は、各都道府県にある自衛隊の総合窓口です。

愛知地方協力本部

（電話）052-331-6266

<https://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



●「自衛隊広報ルームへ、ご招待♪」

自衛隊の写真パネルや模型、実物大の装備品などを展示している楽しいスポットです。自衛隊グッズがゲットできるイベントDAYもありますので、ぜひ遊びに来て下さい！

岐阜地方協力本部

（電話）058-232-3127

<https://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



● 防衛省自衛隊広報センター「自衛館」

自衛隊のパネルや「親子プラモデル教室」で作成されたプラモデル、装備品の模型などを展示している楽しいスポットです。ぜひ遊びに来て下さい♪

三重地方協力本部

（電話）059-225-0531

<https://www.mod.go.jp/pco/mie/>



● 各種イベントや自衛隊に関する情報を紹介！

各種SNS

（Twitter、Facebook、Instagram）も随時更新中！

詳しくは、ホームページでお待ちしています。

自衛官等募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。	合格発表は試験日にお知らせします。

詳しい情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部へお気軽にお問合せください。

東海防衛支局

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館

2019年（令和元年）冬号（通巻第41号）

電話 052-952-8212

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

